

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却方法  
定率法を採用している。
- (2) 引当金の計上基準  
従業員に対する退職給付金に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額を計上している。
- (3) 消費税の会計処理  
消費税等の会計処理は税込額で表示している。
- (4) 資金の範囲について  
資金の範囲には、現金預金のほか、預り金、前受金、法人税等引当金を含めている。

### 2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	2,700,592	240,001	720,000	2,220,593
事務室内改装引当資産	4,500,000	0	0	4,500,000
減価償却引当資産	400,000	0	100,000	300,000
備品購入引当資産	600,000	0	0	600,000
記念事業引当資産	6,000,000	0	1,500,000	4,500,000
広告塔引当資産	1,600,000	0	400,000	1,200,000
合 計	15,800,592	240,001	2,720,000	13,320,593

### 3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産か らの充当額)	(うち一般正味財産か らの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	2,220,593	0	0	2,220,593
事務室内改装引当資産	4,500,000	0	4,500,000	0
減価償却引当資産	300,000	0	300,000	0
備品購入引当資産	600,000	0	600,000	0
記念事業引当資産	4,500,000	0	4,500,000	0
広告塔引当資産	1,200,000	0	1,200,000	0
合 計	13,320,593	0	11,100,000	2,220,593

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物 (広告塔)	4,498,650	2,493,747	2,004,903
什 器 備 品	1,614,301	1,186,901	427,400
合 計	6,112,951	3,680,648	2,432,303

### 5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
全法連助成金	公益財団法人 全国法人会総連合	0	10,171,500	10,171,500	0	指定正味財産
全法連補助金	公益財団法人 全国法人会総連合	0	163,000	163,000	0	一般正味財産
県連補助金	一般社団法人 福岡県法人会連合会	0	725,700	725,700	0	一般正味財産
県連補助金増額分	一般社団法人 福岡県法人会連合会	0	560,703	560,703	0	一般正味財産
合計		0	11,620,903	11,620,903	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額 公益目的事業へ支出による振替額	10,171,500
合計	10,171,500

7. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との主な取引の内容は次のとおりであり、その他の関連当事者とも会議等の会場、印刷物、消耗品等の購入等の取引があるが、一般定価の取引であり、特別の利益供与を与えるものではない。

(単位:円)

関連当事者	内容	金額
(株)石炭会館	事務所家賃	1,367,280
(株)グラノ24K	夏の夕べ開催費	1,909,980

## 附属明細書

1. 特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているので省略する。

2. 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,700,592	240,001	0	720,000	2,220,593